

第五次国有林野施業実施計画
第二次変更計画書
(飛騨川森林計画区)

[変更年月]

第一次変更 平成 31 年 3 月

第二次変更 令和 2 年 3 月

林野庁中部森林管理局

目 次

I 変更事由	1
II 変更事項	
2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
(1) 伐採造林計画簿	2
(4) 伐採総量	2
(5) 更新総量	3

飛騨川森林計画区 第五次国有林野施業実施計画の第二次変更について

国有林野管理経営規程第14条第2項に基づき国有林野施業実施計画の一部を次のように変更する。
なお、この変更は令和2年4月1日から効力を生ずるものとする。

I 変更事由

- ・伐採総量について

豪雨災害による林道不通に伴い、間伐箇所の振替え及び伐採量調整のため伐採に関する事項を変更する。

- ・更新総量について

分収育林契約による伐採に伴い、更新に関する事項を変更する。

II 変更事項

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(4) 伐採総量

(単位: m³、ha)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計		
山 地 災 害 防 止 タ イ プ		(116.47) 12,032	(116.47) 12,032				
土砂流出崩壊防備		(116.47) 12,032	(116.47) 12,032				
気象害防備							
自 然 維 持 タ イ プ							
森 林 空 間 利 用 タ イ プ							
快 適 環 境 形 成 タ イ プ							
水 源 涵 養 タ イ プ	(230.50) 92,785	(1,713.16) 178,593	(1,943.66) 271,378				
小面積分散伐区	(100.96) 44,046	(134.71) 14,596	(235.67) 58,642				
小面積分散伐区枝打	(105.67) 44,704	(169.02) 17,579	(274.69) 62,283				
長伐期	(7.35) 2,570	(871.41) 88,000	(878.76) 90,570				
人工林長伐期複層伐		(110.21) 16,742	(110.21) 16,742				
人工林複層伐	(16.52) 1,465	(30.30) 3,489	(46.82) 4,954				
人工林漸伐複層型		(70.90) 7,629	(70.90) 7,629				
人工林択伐複層型		(326.24) 30,531	(326.24) 30,531				
その他		(0.37) 27	(0.37) 27				
合 計	(230.50) 92,785	(1,829.63) 190,625	(2,060.13) 283,410	31,590	315,000		315,000
年 平 均	(46.10) 18,557	(365.93) 38,125	(412.03) 56,682	6,318	63,000		63,000

(注) 1 () 書きは、伐採面積である。

2 当変更は災害対応によるものであり、年平均については従前どおり計画期間で除した数量である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市 町 村 名	林 地		
	主 伐	間 伐	計
下 呂 市	60,580	156,184	216,764
七 宗 町	30,711	28,061	58,772
東 白 川 村	1,494	6,380	7,874

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ ^{かん}	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成					220.79	220.79
	複 層 林 造 成					4.96	4.96
	計					225.75	225.75
天 然 更 新	天然下種第1類						
	天然下種第2類						
	ぼ う 芽						
	計						
合 計						225.75	225.75